

近畿作物・育種研究会 第 185 回例会講演プログラム

平成 30 年 6 月 2 日(土)

神戸大学大学院農学研究科(C101 大講義室)

11:00~11:50 評議員会 (A 棟 3 階 304 号室)、シンポジウム委員会 (A 棟 3 階 305 号室)

12:00~12:50 総 会 (C101 大講義室)

13:00~14:15 一般講演 (発表 12 分、質疑応答 3 分) 座長 : 畠中知子 (神大院農)

☆① ○小川風和・石川 亮・石井尊生 (神大院農)

イネにおける小穂の開花メカニズムの解明に向けて

☆② ○羅 全淑・中澤美沙希・笹山大輔・畠中知子・深山 浩・東 哲司 (神大院農)

アフリカイネ *Oryza glaberrima* とその祖先種 *O. barthii* の洪水に対する応答

☆③ ○船越孝之・小川拓水・手塚孝弘・太田大策・横井修司 (大阪府大生命環境科学)

イネ種子の  $\gamma$ -oryzanol 含量を規定する因子の解明と形態マーカーの開発

☆④ ○濱 勇希<sup>1</sup>・田中 貴<sup>2</sup>・李 勤超<sup>3</sup>・伊日布斯<sup>3</sup>・稲村達也<sup>1</sup> (1 京都大学、2 岐阜大学、3 昆明理工大学)

中国西部内陸部の野菜連作圃場における太陽熱土壌消毒がアブラナ科根こぶ病と窒素吸収量に及ぼす影響

14:00~14:15 休 憩

14:15~15:30 一般講演 (つづき) 座長 : 堀端 章 (近大生物理工)

⑤ ○吉川貴徳 (京大院農)

ダイズの葉はなぜ複葉化するのか? (問題提起編)

⑥ 濱口秀生<sup>1,4</sup>・武田旭永<sup>1</sup>・山本直樹<sup>2</sup>・増村威宏<sup>2</sup>・杉本敏男<sup>1,3</sup>・東 哲司<sup>1</sup> (1 神大院農、2 京都府大生命環境、3 和歌山大食農研、4 西日本農研セ)

根粒超着生系統ダイズの低収量の主因は、根粒自身ではない—根粒着生能の異なる三種の同質系統ダイズへの窒素施与の影響比較—

⑦ ○岩井正志・杉本琢真 (兵庫県立農林水産技術総合センター)

酒米新品種「兵庫錦」および「Hyogo Sake 85」の種子休眠性

⑧ ○加藤恒雄 (近大生物理工)

イネにおける高位分げつ性の遺伝様式

⑨ ○三鍋尚史<sup>1</sup>・絹島 歩<sup>2</sup>・岡田憲一<sup>2</sup>・藤田三郎<sup>3</sup>・稲村達也<sup>1</sup> (1 京大院農、2 奈良県立橿原考古学研究所、3 奈良県田原本町教育委員会)

弥生時代の出土米ブロックに含まれる稲粒の粒形と脱粒性について—唐古・鍵遺跡の事例から—

15:30~15:45 休 憩

15:45~16:45 特別講演 (講演 45 分、質疑応答 15 分) 座長 : 東 哲司 (神大院農)

片山寛則 氏 (神戸大学農学研究科附属食資源教育研究センター)

「新規ナシ遺伝資源としてのイワテヤマナシ」~保全と利用の両立を目指して~

16:45~17:00 優秀発表賞表彰式

☆ : 優秀発表賞エントリー課題

## 【会場案内】

神戸大学大学院農学研究科

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel : 078-803-5921 (直通)

アクセス :

阪急電鉄六甲駅までは

三宮駅から約 7 分

阪急梅田駅から約 30 分

阪急電鉄六甲駅から

神戸市バス 36 系統

「鶴甲団地」行き 7 分

神大文理農学部前下車すぐ

または徒歩 15 分

JR 六甲道駅までは

三ノ宮駅から約 5 分

大阪駅から約 24 分

JR 六甲道駅から

神戸市バス 36 系統

「鶴甲団地」行き 10 分

または徒歩 25 分

バスは十数分に 1 本の

頻度であります。

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/transport/bus/jikoku/basjikoku/0360151030.html#SAT>



<問合せ先>

近畿大学生物理工学部植物育種学研究室

堀端 章 (近畿作物・育種研究会庶務幹事)

電話 : (0736) 77-3888、E-mail: horibata@waka.kindai.ac.jp